

郷土食講座小麦まんじゅうづくり

事業主体名：千葉県立関宿城博物館

開催日：令和元年6月22日（土）23日（日）

場所：千葉県立関宿城博物館休憩所



千葉県立関宿城博物館のある野田市周辺では江戸時代より小麦生産の盛んな地域として知られ、小麦は原材料として醤油などの地場産業を発展させるとともに、農家ではまんじゅうやうどんの食材に使われていました。

この講座では講師の指導のもとに参加者が小麦粉と重曹を混ぜ、水を加えて練り、しばらく寝かせた後あんこを詰めてまんじゅうを蒸籠で蒸しあげていきます。最後に出来上がったまんじゅうに焼印を押して完成です。

参加者はお互いので作ったまんじゅうの話に盛り上がりながら、上手にまんじゅうを完成させていました。